

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集1

第17回広島国際アニメーションフェスティバル
HIROSHIMA 2018公式ポスター発表
アートワークはクリヨウジ氏が担当



第17回 広島国際アニメーションフェスティバル
2018年8月23日(木)~27日(月) JMSアステールプラザ

THE 17TH INTERNATIONAL ANIMATION FESTIVAL
HIROSHIMA 2018

LOVE & PEACE

主催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会
協賛：公益財団法人広島県文化財団
共催：国際アニメーションフィルム協会日本支部
(ASIFA-JAPAN)
公認：国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA)
<http://hiroanim.org/>

2018 (平成 30) 年 8 月 23 日 (木)~27 日 (月) に JMS アステールプラザで開催される第 17 回広島国際アニメーションフェスティバルの公式ポスターが発表されました。公式ポスターのアートワークを担当したのはクリヨウジ氏です。氏は、長年にわたり、アニメーションや漫画、美術、アートの分野でご活躍を続けられています。

広島国際アニメーションフェスティバルは、2年に一度、広島市で8月に開催される、国際アニメーションフィルム協会 (Association Internationale du Film d' Animation - ASIFA) 公認の映画祭です。『愛と平和』の精神の下、アニメーション芸術の発展を通じた国際異文化交流を促進しながら、映像メディア文化の振興・発展に寄与しています。アヌシー、オタワ、ザグレブと共に、世界4大アニメーションフェスティバルの一つとして知られ、アカデミー賞公認の映画祭でもあります。

日程：2018 (平成 30) 年 8 月 23 日 (木)~27 日 (月) 場所：JMS アステールプラザ
主催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、公益財団法人広島市文化財団
共催：国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-Japan)

●第16回大会グランプリ●
『空き部屋』(The empty) タヒ チョン/ Dahee Jeong
(制作国名:大韓民国 / フランス)



▲© 2016. Jeong Dahee all rights reserved

●ボランティアの募集

世界のトップクリエイターが集結する国際的な映画祭にあなたも参加しませんか？映画祭の運営をサポートしてくれるボランティアを募集しています。映画祭だけでなく、事前に開催するPRイベントなど活躍の場はたくさん。語学ができなくても大丈夫です。公式サイトボランティア募集ページよりお申し込みください。

●広告協賛の募集

映画祭に協賛していただける企業・団体を募集しています。金額に応じて各種特典をご用意。お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ先

広島国際アニメーションフェスティバル事務局 <http://hiroanim.org>
〒730-0812 広島市中区加古町 4-17 JMS アステールプラザ内 TEL : 082-245-0245 FAX : 082-504-5658



第17回広島国際アニメーションフェスティバル関連イベント情報

第17回大会に向け、アニメーション関連イベントが始まっています。本誌前号(第13号、2017年9月25日発行)での昨年夏～秋のイベント等のご紹介・ご案内に続き、この冬から春の関連イベントをご紹介します・ご案内します。

● Report 1

アニメーション・ワークショップ2017 完成作品『Cat』観賞会

広島の子供たちがプロのアニメーション作家の指導を受け、自分たちでアニメーション作りに挑戦しました。

2017年8月22日(火)から25日(金)までの5日間で実施されたアニメーション・ワークショップで、参加した子どもたちがアニメーション『Cat』を制作。後日、音楽や効果音が入り、12月2日(土)にアニメーション・ワークショップの参加者やその関係者を集めて、観賞会が行われました。

苦勞して作ったアニメーションが実際に動いている様子を見て、参加した子どもたちから、「大変だったけど、出来上がった作品が素晴らしい」「達成感を得た」「アニメーション作りの大変さが分かった」といった感想が寄せられました。

日時：2017(平成29)年12月2日(土)14:00-14:30
会場：JMS アステールプラザ 5階 視聴覚スタジオ

なおこの作品は2018年8月23日(木)～27日(月)開催の第17回広島国際アニメーションフェスティバルで公式上映されます。

広島競輪開設65周年記念GIIIピースカップイベントで 広島国際アニメーションフェスティバルのPRイベント

2017年12月22日(金)に広島市南区宇品の広島競輪場内サイクルパークで、広島国際アニメーションフェスティバルのPR事業が行なわれました。フェスティバルの魅力を紹介するパネル展示やモニターでの映像紹介、フェスティバルをテーマとした謎解きなど内容も盛りだくさん。他にも、広島のメディア芸術文化の振興を目的に、ゾンビをテーマとしたアニメーションの上映やゾンビパネル等の展示も行われました。

日時：2017(平成29)年12月22日(金)10:00-16:30
場所：広島競輪場内サイクルパーク(広島市南区宇品海岸3-64)
協力：村上渚(アーティスト)、AAIひろしまプラン、リコー(株)



▲会場の様子



▲作品の上映



▲会場でのパネル



▲イベント会場

▶ Pickup 広島国際アニメーションフェスティバル関連イベント

パラパラアニメーションコンテスト2018

2月募集開始!

あなたの作品を世界で活躍しているアニメーション作家が審査します。

優秀作品は、第17回広島国際アニメーションフェスティバルで上映する予定です。



主催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、公益財団法人広島市文化財団
お問い合わせ：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局
「パラパラアニメーションコンテスト2018」係
TEL：082-245-0245

広島大会が世界に誇る映画祭と言われる10の理由展

展示内容：広島国際アニメーションフェスティバルの魅力を紹介する展示を行います。

主催と会場：安公民館(広島市安佐南区上安2-2-46)
開催期間：2018年2月1日(木)～2月28日(水)
協力：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会
入場料：無料

お問い合わせ：安公民館(082-872-4495)

▶ Pickup 広島市映像文化ライブラリー 2月イベントの紹介

メディアレクチャー「スクリーンの中の広島」にいたるまで

講師/西崎智子(広島フィルム・コミッション)

広島フィルム・コミッションの西崎智子さんが、昨年からロングラン上映を続ける映画『この世界の片隅に』をはじめとする、広島でロケが行われた作品のこぼれ話や広島フィルム・コミッションの活動を紹介します。

2月10日(土)15:00-16:30

入場無料

両方のお問い合わせ：

広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)

TEL:082-223-3525

ファミリーシアター『シンドバッド 空とぶ姫と秘密の島』

2015(平成27)年プロジェクトシンドバッド50分カラーBlu-ray
監督/宮下新平

声の出演/村中知、田辺桃子、鹿賀丈史、薬師丸ひろ子
『アラビアンナイト』からシンドバッドの冒険をアニメーション化。海の向こうの世界へと船出することを夢見ていたシンドバッド。そんなシンドバッドの前に、ある日、空から木馬に乗った少女サナが現れ、心ときめく冒険がはじまる…。(作品提供/新日本映画社)

2月18日(日)①10:30～②14:00～

鑑賞料：大人380円、シニア(65歳以上)180円、高校生180円、小・中学生無料

特集 2

映画『この世界の片隅に』公開一周年をふりかえって

映画『この世界の片隅に』は、2017年11月12日に公開一周年を迎えました。その11月に行われたイベントをレポートし、この映画作品がもたらしたものと、そしてこれからを改めて考えます。

映画公開一周年、ロングランを支え続けてきたのは

広島市では、八丁座とサロンシネマが交互に引き継ぎ、遂に1年間ずっと欠かさず上映が続けられました。一周年を迎えた日からは、映像をブラッシュアップしたバージョンが上映されています。

アニメーション映画が1年以上に渡って上映し続けられるのはあまり例を見ません。作品の良質さはもちろん、観客の強い思いと八丁座・サロンシネマを運営する序破急の熱意が、互いに支え合ってきた結果と言えます。

また、映画にも登場する福屋八丁堀本店にある八丁座や、福屋を臨むサロンシネマで観る体験は代えがたいものです。ここで映画を観るイコール作品の舞台に入り込める稀有な体験を、アニメファンだけでなく多くの人が自然と楽しめたのも、ロングランの一因ではないでしょうか。

映画にも出る福屋八丁堀本店で開催された原画展

2017年5月に東京・タワーレコード渋谷店で行われた原画展の巡回展が、9月に福岡、10月に名古屋、11月(9~21日)に広島で開催されました。広島会場は福屋八丁堀本店8階の催事場。同階には八丁座もあり、原画展を見て映画館へ向かうお客様も多かったようです。

2016年の夏から秋にかけて、映画公開前に呉市立美術館で開催された漫画・アニメ両方を取り扱った特別展のボリュームにはかないものの、作品のエッセンスをしっかりと理解できるよう、そして、この史代先生の他作品の原画も展示するなど、工夫されていました。デパート内の会場であることから、一般客が作品を知りきっかけにもなっていました。

映画公開一周年をお祝いして HAC からすずさんイメージの黄色と白のアレンジメントを贈りました。片淵監督ファン一同からもお花が届き、すずさんの左右を彩りました。



▲HACからのアレンジメントと片淵監督ファン一同からの胡蝶蘭
(写真：『この世界の片隅に』ファン提供)

福屋内には、広島出身この先生ならではの茶目なサインが！
広島人ならついついくちずさんでしまう、あの福屋のフレーズ♪



▲この先生のお茶目なサイン
(写真：『この世界の片隅に』ファン提供)

広島国際映画祭に凱旋

11月24日~26日の3日間、NTTクレドホールをメイン会場に第4回広島国際映画祭が開催されました。この映画祭は、広島出身の美術監督・部谷京子さんを代表に2014年から始まった「ポジティブな力を持つ作品を、世界中から集めた映画祭」。その前身のグマー映画祭 in ヒロシマ(2009~2013年)時代の2012年から毎年、片淵須直監督のワークショップ(映画制作のための調査報告を中心としたトーク)をプログラムに組み込んできました。

昨年は11月11日~13日、ちょうど映画公開日と重なる日程で、最終日クロージング作品として上映され、同年に新設された「ヒロシマ平和映画賞」を受賞。これを皮切りに次々と多くの映画賞を受賞したため、地元凱旋と言えます。

今年は監督の挨拶を兼ねたトークとともに、初日にオープニング作品としてバリアフリー上映され、既に観た人にも新たな感動を覚える機会となりました。

夜にはファンや支援者が集まった凱旋パーティー「ありゃ!?もう一周年じゃねえ~」、翌日は、監督と声優・広島弁指導を勤められた棚野幸知さんの濃いトークライブも開か



▲片淵監督の挨拶トーク
司会は広島フィルム・コミッション西崎さん
(写真：松浦撮影)

れ、広島の映画として引き続き大切にしていける新たな出発の場となりました。

《地元発ファン感謝企画》「まいごのすずさん」

~この世界(セカ)ファンのみなさま広島・呉にきてくれてありがとう~

一周年を記念して、支援する呉・広島の人などからなる実行委員会によるファン感謝企画「まいごのすずさん」も始まりました。

“広島・呉に住むわたしたちから、すずさんに会いに来てくれるファンの方々に「すずさんにあえるまち」をプレゼントする”企画で、道に迷ったすずさんが、広島と呉の街角のあっちこっちに座り込んで落書きをしたという設定の(実は原作者この史代先生が描いた)ちいさな絵を探して歩く街めぐりの楽しみです。

広島と呉に合わせて5箇所、描かれています。

詳しくは⇒

http://kuresc.net/ksk_maigo/
(2018年1月31日までの予定)



▲「すずさんが道に迷って広島・呉の街角に描いた落書き」のひとつ
(写真：松浦撮影)

2018年1月26日、八丁座での上映終了。

「タイタニック」上映期間を超えて

12月18日、八丁座 Twitter アカウントから『この世界の片隅に』上映終了のお知らせが発表されました。

2018年1月26日をもって、封切から足掛け3年の上映に幕が下ろされます。上映期間は441日、63週、1年2ヶ月15日。八丁座・サロンシネマと引き継ぎつつ、なんと『タイタニック』を超える期間を上映し続けてきたことに地元映画館の矜持を感じます。

1月26日までの上映時間は次の通りです。

期間	上映時間
2017年12月23日(土)～12月29日(金)	10:45 -13:05
12月30日(土)～2018年1月5日(金)	15:40 -18:00
1月6日(土)～1月12日(金)	10:50 -13:10
1月13日(土)～1月19日(金)	10:50 -13:10
1月20日(土)～1月26日(金)	19:05 -21:25

※鑑賞前に念のため、上映スケジュールをご確認ください。

<http://johakyu.co.jp/schedule/month.html>

TEL : 082-546-1158 (八丁座)

お年玉情報♪

2018年2月3日(土)～全国イオンシネマ90劇場にて上映決定!

中国地方では、イオンシネマ広島、岡山、防府で上映されます。

※上映予定は映画公式サイト <http://konosekai.jp/> の劇場情報でご確認ください。

アカデミー賞 ノミネート・受賞なるか?

ロングバージョン制作中

広島国際映画祭 2016 でのヒロシマ平和映画賞を皮切りに多くの受賞をしてきた映画『この世界の片隅に』は、アメリカ・アカデミー賞ノミネート対象作品となっていることが、11月に発表されました。今回のアカデミー賞長編アニメーション部門には、日本の作品が26本中5本もエントリーしています。2016年から2017年にかけてが、日本の長編アニメーションにとっていかに豊かな年だったかがい知れます。

2018年1月23日にノミネート作品発表、2018年3月4日(現地時間)に結果発表と授賞式が行なわれます。第41回アヌシー国際アニメーション映画祭 長編部門・審査員賞など国際的な受賞もある『この世界の片隅に』は、アカデミー賞ノミネート・受賞なるか?

これまで日本の長編アニメーションでノミネート・受賞したのは全てジブリ作品なのですが……。

この映画は既に世界各地で上映されていますが、国際的な賞を受けると海外で観られる機会がますます増えることになるでしょう。それは、日本のアニメーションが多様である海外で認識され、平和を大切にしているヒロシマの心とともに受け入れられていく契機となるに違いないのです。

公開一周年の舞台挨拶で、ロングバージョン制作も正式に発表されました。既に公開されている作品には入らなかったエピソードが加えられます。どんな作品になるのか楽しみにしながら、この映画を今年も来年も再来年もずっと、広島・呉から見守っていきたいと思います。(文・松浦妙子)

▶映画公式サイト <http://www.konosekai.jp/>

◎この史代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会

Column

▶映画館という体験を楽しむことで育まれる文化

松浦妙子

映画『この世界の片隅に』をロングラン上映してきた八丁座・サロンシネマ、呉ポポロは、街中にあり、映画ファンを支えてきた小規模映画館です。

映画にも登場する福屋八丁堀本店は“聖地”とも言え、八丁座はその中にあります。呉ポポロは、お嫁に行ったすずさんが、夫の周作とともに歩いた通りにあります。

ここで映画を観るイコール作品の舞台に入り込める(いわゆる“聖地巡礼”ともなる)稀有な体験を自然と楽しむことができます。この映画体験は代えがたいものです。映画館に“体験する”という面があると、改めて気付かされます。



▲2017年8月 八丁座併設カフェにて提供されたコラボメニュー江波巻(好評にて一時売り切れに!)

ロングランを続けてきた映画館は、全国にたくさんあります。映画『この世界の片隅に』が私たちに気付かせてくれたのは、日本各地には映画文化を支えてきた地域の映画館がまだあるということでした。どんどん減りつつあるのは事実としても。また、小さな映画館と対立するように思われてきたシネコンも、良質の環境で映画を提供する努力を続けているのだということも。



観客が映画館の思いに ▲2016年11月12日 公開初日の八丁座風景
 気づき、映画館に足を運ぼうという気運を高めたことも、アニメーションや映画文化の下支えとして不可欠、私自身も良き観客になろうと身に沁みて思います。

(まつうら たえこ NPO 法人広島アニメーションシティ理事)

● Report 2 横川にゾンビが三たび集結 横川ゾンビナイト3

2017年10月27日(金)・28日(土)、広島市西区の横川商店街ハロウィンイベント「横川ゾンビナイト3」が開催されました。横川商店街でのゾンビナイトイベントは今回で3回目。ハロウィンイベントとしてすっかり定着しています。今回は、経済産業省のプレミアムフライデーともタイアップするなど、その注目度は広島市内にとどまらず全国規模の広がりを感じられます。

二日間のイベントではゾンビをテーマにしたダンス、フラッシュモブ、マジックなどのステージショーやプロジェクションマッピング、VR、3D立体投影技術(アスカネット)などの映像コンテンツ系の展示も盛りだくさん。もちろん参加者がゾンビに変身できるフェイスペイント(ゾンビ感染所)をはじめリアル謎解き(横川パニック)、仮装コンテスト、アームレスリングなどの参加型コンテンツも充実。たくさんの飲食ブースも出店されイベントを大いに盛り上げました。

誰でも気軽に楽しむことができるこのイベントは、メディア芸術と地域の商店街イベントが融合し、楽しさと新しさ、そして横川商店街の懐かしさが絶妙にバランスされています。地域創生や地域活性化の一つのヒントになりそうです。横川から今後も目が離せません。



Pickup 松井市長もゾンビ VR を体験!

広島国際学院大学情報デザイン学科の趙 領逸研究室提供のゾンビ VR 体験ブースに松井一寛広島市長も来訪。VR 体験をされました。迫力のあるゾンビ映像に松井市長も思わずのけぞる一幕も。学生たちが制作したゾンビ VR 映像を松井市長は絶賛されました。この VR ブースには二日間で 600 人以上の方々が登場。横川ゾンビナイトのイベントは市民の方々がメディア芸術に気軽に親しまれるきっかけになると同時に、メディア芸術を学ぶ若い学生の発表の場にもなっています。



▲学生たちと記念撮影(右)



◀横川ゾンビナイト3 公式 Facebook より

● Pickup

公開講座「開講!ゾンビ大学」
～人生で大切なことはみんなゾンビ映画から教わった～

講師：岡本 健(おかもと たけし・奈良県立大学准教授)

観光や地域振興、コンテンツ文化などに詳しい岡本 健(奈良県立大学准教授)先生の公開講座が2017年10月28日(土)広島市西区民文化センターで行われました。横川ゾンビナイトのイベントの一環として開催されたこの講座では、「ゾンビ大学」が開学されるという想定のもと、学術的な視点からゾンビを分析。ゾンビの伝説の由来やゾンビが登場する映画の歴史、近年のアニメやゲームなどへの展開にいたるまで豊富な資料をもとにわかりやすく解説されました。そして、現代のゾンビブームから現代社会を読み解く視点などについても解説され、参加者はゾンビへの理解をいっそう深める貴重な時間になりました。



▲岡本 健先生



▲講演会の様子

● Report 3

手塚治虫作品上映とトークショー

2017年11月18日(土)、広島市映像文化ライブラリー 2Fホール(広島市中区基町3-1)で手塚治虫作品の上映と手塚プロダクションチーフプロデューサー・湯本裕幸氏によるトークショーが行われました。



▲湯本裕幸氏

上映会では『ある街角の物語』(1962年・38分)と『展覧会の絵』(1966年・33分)という貴重な作品が上映されました。湯本チーフプロデューサーのトークでは、手塚治虫氏の実際の創作スタイルや貴重な裏話など、興味深いエピソードがたくさん紹介され、参加者にとっては手塚作品への新たな視点に触れるよい機会となりました。

会場：11月18日(土) 上映 10:30 - 18:00 ～ トークショー 14:00 - 15:30

主催：NPO 法人広島アニメーションシティ、広島市、

(公財) 広島市文化財団広島市映像文化ライブラリー

協力：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局

上映作品：『ある街角の物語』(1962年・38分)、『展覧会の絵』(1966年・33分)

トークショー：手塚プロダクションチーフプロデューサー・湯本裕幸氏

(司会) タレント・田辺祐三子氏

Event Information 1 ぶち!!ひろしまゲームスタジアムIII

総合学園ヒューマンアカデミー広島校が広島のゲーム制作を熱くするイベントを開催します。今年で3回目となるこのイベントは、広島でゲーム制作を学ぶ若者と全国のゲーム企業を結びつけるイベントです。プロのゲーム制作者と接するこのイベントはゲーム業界での活躍を目指す若者にとって貴重な機会になりそうです。
 日時：2018年2月11日(日・祝) 10:00-17:30
 場所：広島偕成ビル10階(広島市中区鉄砲町5-7)
 参加料：無料
 ゲーム業界に興味のある学生であればどなたでも参加できます。

内容：①作品「交流」添削会
 ②ゲーム業界トーク※
 ③ゲームTHE談会
 ※セミナー・企業説明会
 第1回 11:30-12:15
 第2回 13:30-14:15
 第3回 14:30-15:15
 第4回 15:30-16:15



Event Information 2 卒業制作展情報

メディア芸術系の大学・短大・専門学校 卒業制作展特集

比治山大学短期大学部 美術科

第50回卒業制作展・第16回修了制作展
 広島県立美術館/県民ギャラリー(広島市中区上幟町2-22)
 2018年1月16日(火)~1月21日(日)
 9:00-19:00(金曜日17:00まで)

広島コンピュータ専門学校

学生作品展2018
 広島コンピュータ専門学校(広島市西区横川新町7-12)
 2018年1月26日(金)~1月28日(日)
 10:00-16:00(最終日14:00まで)

広島市立大学 芸術学部

第21回卒業展・修了作品展
 広島市現代美術館(広島市南区比治山公園1-1)
 広島市立大学芸術学部棟(広島市安佐南区大塚東3-4-1)
 2018年2月14日(水)~2月18日(日)
 10:00-17:00(入場16:30まで)

穴吹デザイン専門学校

卒業・修了制作展2018
 広島県立美術館/県民ギャラリー
 2018年3月13日(火)~3月18日(日)
 9:00-19:00(金曜日17:00まで)

広島国際学院大学 情報デザイン学科

第11回卒業研究・卒業制作展
 JMSアステールプラザ/市民ギャラリー(広島市中区加古町4-17)
 2018年2月16日(金)~2月18日(日)
 10:00-19:00(最終日15:00まで)

広島情報専門学校

卒業研究発表会
 南区民文化センター(広島市南区比治山本町13-27)
 2018年2月16日(金)
 10:00-14:00

Event Information 3 ひろしま映像ショーケース

広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)
 2018年3月10日(土)・11日(日)
 ※詳細は、後日、広島市映像文化ライブラリーHP等で紹介予定

速報 ポップカルチャーひろしま2018 開催決定

開催予定日：2018年6月16日(土)・17日(日)
 開催場所：旧日本銀行広島支店、合人社ウェンディひとまちプラザ、その他調整中。
 詳細は、次号以降の広島アニメーションだよりでもご紹介予定です！

比治山大学
短期大学部
美術科

50

since 1967

美術科は本年、設立から50周年を迎えました。これまでに3700名の卒業生を送り出した美術科は、これからも広島市と協力して新しい才能を発掘、育成していきます。

客員教授この史代原作
「この世界の片隅に」

絶賛、上映拡大中
広島人必見！

マンガ・キャラクターコース

映像・アニメーションコース

メディア芸術はここから

©Uehara

発行日：2018年1月15日 発行部数：5000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
 編集：NPO法人広島アニメーションシティ(HAC) デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室・藤尾 晴香
 【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局
 〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口研究室内
<http://hac.or.jp> Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723